



林野庁
東北森林管理局
津軽白神森林生態系
保全センター
平成 29 年 5 月 31 日
No.131

平成 29 年度 自然再生活動について

平成 29 年度の自然再生活動の開催予定をお知らせします。
募集受付は、イベント実施日の概ね一ヶ月前から開始する見込みです。

○第 1 回自然再生活動

実 施 日：平成 29 年 7 月 22 日（土曜日）
実 施 場 所：青森県中津軽郡西目屋村 鬼川辺国有林 外
募 集 人 員：親子での参加を優先し、応募多数の場合は抽選により 20 名
参 加 費：200 円（傷害保険料外・バス代は無料です）
出 発 地：青森市役所柳川庁舎前（午前 7 時集合）
イベント内容：ブナ林再生活動としての広葉樹苗木の採取等と森林散策。
そ の 他：雨具・昼食持参
天候等により内容を変更する場合があります。

○第 2 回自然再生活動

実 施 日：平成 29 年 9 月 16 日（土曜日）
実 施 場 所：青森県中津軽郡西目屋村 鬼川辺国有林 外
募 集 人 員：親子での参加を優先し、応募多数の場合は抽選により 20 名
参 加 費：200 円（傷害保険料外・バス代は無料です）
出 発 地：青森市役所柳川庁舎前（午前 7 時集合）
イベント内容：ブナ林再生活動としての広葉樹苗木の採取等と森林散策。
そ の 他：雨具・昼食持参
天候等により内容を変更する場合があります。

*募集期間等につきましては、確定次第『白神の絆』でお知らせいたします。

ニホンジカ対策開始

昨年10～12月、深浦町の国有林内に試行的に設置した小型囲いわな。動物は何も捕獲されなかったものの、毎日見回りする労力や積雪による誤作動等々、いくつかの改善点が見えてきました。そこで今年は、設置箇所や檻そのものは昨年のまま変えませんが、檻の上部に動物の体温と大きさを感じ取るセンサーを取付け、シカクラスの大型哺乳類が入った場合のみゲートが閉じる自動捕獲システムを導入しました。さらにゲートが閉じるとワナの近くに設置したカメラにより檻の内部が撮影され、わずかのタイムラグで職場のパソコンに画像がメール送信される、という優れものです。



センサー付きの小型囲いわな全景



画像添付メールを飛ばすカメラ

4月11日に新システムを導入するにあたり、三重県からセンサーを開発した株式会社アイエスイーの高橋さんが、盛岡からメール送信カメラを取り扱うサージミヤワキ株式会社の滝沢さんが遠路はるばる駆けつけて下さいました。お二人からセンサーやカメラの説明を受けながら作動テストを繰り返した上で、わな周囲に誘引剤のヘイキューブを撒いてゲートを固定しました。

2週間の餌付け期間を経た4月25日、センサーのスイッチをONにしてわなの稼働を開始しました。まずは下草が伸びてシカの食物が豊富になる前の5月末まで稼働させて、夏の間は一端中断し、草が枯れて餌が乏しくなる10月以降に再稼働を予定しています。白神山地周辺ではシカの生息密度はまだまだ低く、捕獲される可能性は相当低いでしょうが、もし捕まれば優先順位としてこの部位を収集すべし！と西目屋自然保護官の安生さんよりご教示いただきました。

- ①前歯1本（これは必須）＝断面から年齢が分かる
- ②胃＝内容物から食性が分かる
- ③胎盤（♀のみ）
- ④腎臓＝脂肪の付き方で栄養状態が分かる



高橋さんからセンサーの使用法を教えてください

…もし捕まれば重要な試料となりますので、可能な限りのサンプリングを試みます。

わなによる試行的捕獲に加え、例年では5月中旬頃から開始するセンサーカメラの設置作業を、今年は4月中旬より西海岸の大間越方面から順次進めています。西海岸は積雪が少なく、なおかつ春先の芽吹きが早くてシカがいち早く餌にありつけるため、シカの良い越冬場所になっているのでは？とにらんでいます。シカが撮影されれば、環境省やその他関係機関と情報を共有し、本誌上でも皆様にお伝えしていきます。(有本)



作動テストのため檻に入ってシカ役を熱演する滝沢さん



パソコンに送信された画像



報道陣の皆さんも興味津々

緑の募金活動



募金活動の様子

一緒に募金をお願いを行いました。

この募金活動によって、地球温暖化防止を始め、生物多様性の保全に資する国内外の森林整備や森林ボランティアの育成などに「緑の募金」は生かされます。(寺田)

5月12日(金)、青森県鯉ヶ沢町緑化推進委員会主催の「緑の募金」活動が「海の駅わんど」と町内スーパーマーケット前の4カ所で行われました。

舞戸小緑の少年団、さいかい緑の少年団などが、「緑の募金にご協力をお願いしま〜す」と元気の良い声で呼びかけ、買い物に訪れた多くの方々が、快く募金に応じていました。当センターからは、同委員に委嘱されている所長が参加し、少年団と

園児が緑化活動を体験しました



上手く植えられるかな？

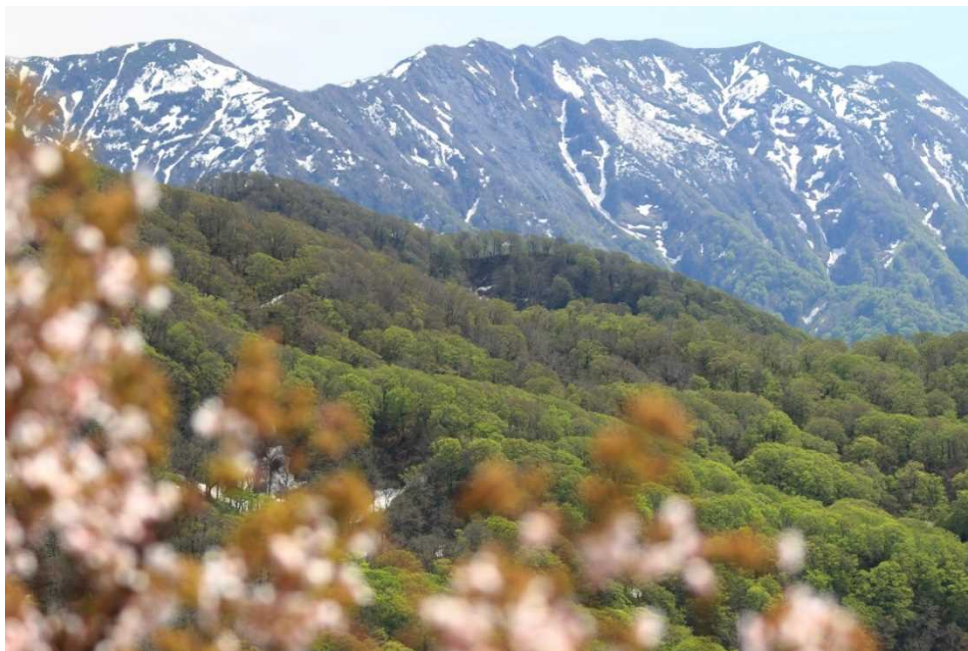
津軽森林管理署と当センターでは、鱒ヶ沢こども園の年長園児を対象に、5月19日（金）地域の緑化活動を行う体験学習を実施しました。

この活動は鱒ヶ沢町の緑化活動「花いっぱい運動」の一環となるもので、間伐材を利用したプランターに花の苗を植える体験をすることで、未就学の小さなお子さん達が自然環境に興味を持つきっかけとなればと当センターで活動を始め、今年で8年目となります。

園児たちは一生懸命、花を植え付けたあと、丁寧に水をあげていました。秋まで自分が植えた花のお世話をするとのことです。こうした体験を通じ、花とともに園児達も元気に成長していくことを願っています。（吉川）

今月の一枚

専門官 有本 実



向白神岳（2016.5.14 深浦町 茶白山山頂より）

昨年5月2日、新緑の向白神岳の勇姿を期待して茶白山に登ったところ、緑の“み”の字も見当たりません。気が早すぎたか…と5月14日に再訪すると状況は激変、緑が爆発しています！12日前に来たときには存在すら気付かなかったシラネアオイが林床に咲き乱れ、しかも花が少し痛んでいます。山頂はこれまた気付かなかったミネザクラが満開で、サクラ越しの向白神岳の眺望を一人占めしました。

〈発行〉 林野庁 東北森林管理局 津軽白神森林生態系保全センター

〒038-2754 青森県西津軽郡鱒ヶ沢町大字米町 25-2 電話:0173(72)2931 FAX:0173(72)2932

